

遠山英一 とほやま 歌人。文久二年信濃國上伊那郡南向村生れ、昭和二十
 十年八月十日没（八六一一九五）。號虚心園、源英一。初の俳諧は親し
 み、井上井月とも交遊ありたといふ。明治二十年頃上京、二十五
 年頃より歌作、小出衆 こいでしゅう のち高師正風 たかのしりやま に學び、歌誌『ホトタケ』を發
 刊。二十八年柳歌所録筆に任じ、のち野人 のりのひと として昭和二十一年同所廢
 止まらば五十餘年出仕。この間各地の歌誌への添削、伊那國風會等郷土
 舊派の指導に當り、全國各地に二十五カ所以上の歌碑が建てられた。
 歌集『五十四番歌合』(編、いはり判詞、明治二十八年一月十五日さ
 きし)、『後行所』、『虚心園家集』(昭和八年六月十日刊)、『虚心
 園家集拾遺』(昭和十二年五月二十一日刊)等。

